む

●緑色は別名

信州 SHINSHU 草花木実

《目次》 1
ムカゴイラクサ 2
ムギクサ 3
ムクゲ 4
ムクロジ 5
ムサシアブミ 6
ムシトリスミレ 7
ムシトリナデシコ 8
ムスカリ 9
ムスカリ・アズレウム 10
ムスカリ・マウントフット 11
ムベ 12
ムラサキエノコロ 13
ムラサキカタバミ 14
ムラサキケマン 15
ムラサキゴテン 16
ムラサキサギゴケ 17
ムラサキシキブ 18
ムラサキセンダイハギ 19
ムラサキツユクサ 20
ムラサキミツバ 21
ムラサキヤシオツツジ 22
ムレスズメ 23

【花期 8〜9月】

雌花序　2003.9.16白馬

雄花序　2002.8.14戸隠

ムカゴイラクサ　葉腋に径5mmほどのムカゴがあり、栄養繁殖する【42】2002.8.14戸隠

ムカゴイラクサ　零余子刺草　〈イラクサ科ムカゴイラクサ属〉

山地の林のやや湿り気のある所に生える多年草。茎は直立、全体に刺毛が疎らに生える、高さ30〜70cm。葉は互生、長卵形〜卵状楕円形、長さ5〜15cm、幅3〜6cm、基部は円い、先は尖る、ふちに鋸歯、葉柄は長い、葉腋にムカゴ(珠芽)がつく。上部の葉腋から雌花序を出す、長さ4〜7cm、雌花は萼4裂、雄しべ4〜5個、下方の葉腋に雄花序をつける。【18】【42】【58】【64】

■名は、茎の上にムカゴができるから。【18】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ムカゴイラクサ						●	●					

【花期 4～7月】

ムギクサ　　2017.6.9千曲

ムギクサ 麦草〈イネ科オオ　ムギ属〉

ユーラシア大陸原産の1～2年草。荒地や路傍に帰化している。高さ10～60cm。葉は長さ10～20cm、幅4～8mm、軟らかい。葉舌の左右に白色の葉耳が発達するのが目立つ。花序は直立、長さ5～13cm、緑色、長い芒を密生、小穂は3個が1組になる、中央の1個のみが結実する。【32】【77】【157】

■花序は扁平で、密に小穂をつけて隙間は見えない。【157】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ムギクサ												

【花期 7〜10月】落葉低木〜小高木

ムクゲ‘コバタ(小旗)’　葉の3裂程度は強くない【37】　2005.8.1上田

ムクゲ　2003.9.30長野

黄葉　実　種子　2014.11.5上田

八重咲き　2005.8.16上田

ムクゲ　木槿　別名ハチス〈アオイ科フヨウ属〉

庭木、生垣、切花用に植えられる。よく分枝して、高さ2〜4m。葉は長枝上で互生、短枝上で束生、短柄、卵形〜広卵形、長さ4〜10cm、時に3裂、ふちに粗い鋸歯。花は腋生または頂生、径6〜10cm、1日花、普通紅紫色だが、白花や八重咲きなど多くの園芸品種がある。萼5裂、花弁5個、雄しべ多数、合着して筒状。果実はさく果、球形、熟すと裂ける、種子には長い毛。【4】【18】【37】

■名は、漢名木槿の音読みに基づく。【18】■木槿＝モクキン。【大字典・講談社】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ムクゲ					●	●	●	●				

【花期 6〜7月】落葉高木

ムクロジ　写真は萼と花弁が落下した後の姿　2015.7.5上田城跡

果序　2019.5.20上田城跡

果実　2015.3.5上田城跡

種子　2015.3.5上田城跡

ムクロジ 無患子 〈ムクロジ科ムクロジ属〉

山地に生え、しばしば寺に植えられる。高さ15〜20mになる。葉は互生、偶数羽状複葉、小葉は4〜6対、広い披針形、長さ7〜15cm、革質。雌雄同株。枝先に大形の円錐花序を出す。花は黄緑色、径4〜5mm、萼片4〜5個、花弁4〜5個、雄花は雄しべ8個、雌花は雌しべ1個。果実は核果、球形、径約2cm。【4】【18】【37】【48】

■名は、モクゲンジの漢名木槿子が入れ替わって使われ、それから由来した。【18】
■果皮に含まれるサポニンは泡立つ成分があり、かつては石鹸お代わりに使われていた。【48】■種子は羽根つきの球にする。【4】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ムクロジ					●							

【花期 3〜5月】

ムサシアブミ　　2002.5.22軽井沢

仏炎苞　　20035.17軽井沢

若い果実　晩秋、真っ赤な果実に【32】

ムサシアブミ　武蔵鐙〈サトイモ科テンナンショウ属〉

海岸近くの林床を好む多年草。偽茎は葉柄より短い。葉は2枚、小葉3個菱状楕円形。仏炎苞は淡緑色または暗紫色で隆起する白い筋がある。舷部は袋状で内面は光沢がある。【3】【25】【32】【42】

「歴史カタログ第1集『日本歴史大図鑑』歴史に親しむ会編集」より

■名は、仏炎苞の形を鐙に例えたもの。【3】■武蔵の国の鐙は特に優秀であったと言う。【32】

■武蔵の国で製作され端に突起がある形の鐙と、仏炎苞の形が似るので。【25】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ムサシアブミ			●									

【花期 7～8月】

ムシトリスミレ　食虫植物。スミレの仲間ではない。【3】　2004.7.18白馬八方

花　2004.7.18白馬八方尾根

花　1999.6.14白馬八方

葉　2004.7.18白馬八方

ムシトリスミレ　虫取菫〈タヌキモ科ムシトリスミレ属〉

亜高山から高山帯の湿り気のある岩場や草原に生える多年草。高さ5～15cm。葉はロゼット状、長楕円形、先端は鈍く、ふちは全縁、やや内にまくれ、長さ3～8cm、幅1～2cm、表面に小さな腺毛があり、粘液を分泌して虫を捕らえ、消化してしまう。花は長さ5～25mm、萼5深裂、花冠はスミレ似、上唇2裂、下唇は大きく3裂、基部に細長くまっすぐな距、雄しべ2個。【3】【15】【18】【35】【42】

■名は、葉が虫を捕らえ、花がスミレに似るから。【18】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ムシトリスミレ				●	●							

【花期 5〜6月】

ムシトリナデシコ　粘液を出すが、食虫植物ではない【5】　2002.6.7長野

花　2003.6.2長野

葉　2003.6.2長野

茎の粘液　2003.6.2長野

果実　2002.5.25志賀高原

ムシトリナデシコ　虫取撫子〈ナデシコ科マンテマ属〉

ヨーロッパ原産の1〜2年草。江戸時代末期に渡来。庭園に植えられ、しばしば河原などに広く野生化している。全体無毛。茎は直立、分枝、高さ30〜60cm、上部の節の下に褐色の粘液を分泌する。葉は対生、卵形あるいは広被針形、茎を抱く。花は径1cm、淡紅色、稀に白色、萼片5個、花弁5個、先端浅く2裂、雄しべ10個、花柱3裂。果実はさく果、長楕円形。【18】【32】【42】

■名は、茎の粘質物で小虫を採るという想像に基づく。【18】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ムシトリナデシコ												

【花期 3〜5月】

ムスカリ　群生させるとすばらしい【25】　2005.4.11白馬

花　2003.4.27明科

葉　2003.4.27明科

実　2015.6.13駒ヶ根

ムスカリ ── 〈ユリ科ムスカリ属〉

ヨーロッパの地中海沿岸から西アジアが原産。花壇や鉢植え、切り花用に栽培される多年草。高さ15〜30cm。地下の鱗茎から線形の葉を根生。花茎をのばして総状花序に濃い青紫色の花をつける、花被は壺形、ふちは6裂、雄しべ6個、雌しべ1個、花柱3裂、子房3室。果実はさく果、球形。【18】【54】【58】

■野生種には特有の香りをもつ種類があり、それが名になった。ムスカリはムスク、麝香（じゃこう）に由来する。【25】

■残念ながら、園芸品種ではその香りが失われたよう。【25】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ムスカリ												

【花期 早春】

ムスカリ・アズレウム　　2015.3.18長野

ムスカリ・アズレウム ―― 〈ユリ科ムスカリ属〉

●師範【1】～【76】にムスカリ．アズレウムの記述が見つからないため、ネット上を探した。草丈は10～15cm、花期は早春とあった。

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ムスカリ・アズレウム	●											

【花期 4〜5月】

ムスカリ・マウントフット　　2015.4.17上田

ムスカリ・マウントフット ―― 〈ユリ科ムスカリ属〉

球根植物。2色咲きの珍しいムスカリ。高さ10〜20cm。【93】【133】

■学名Muscari aicheri sv.'Mount Hood'。【133】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ムスカリ・マウントフット		●										

【花期 4～5月】常緑蔓性低木

ムベ（園芸種）　2002.4.22長野

雌花 雌しべ3個【37】　2002.4.22長野

葉　2004.4.30長野

葉裏 網状脈【37】

ムベ　郁子　別名トキワアケビ・ウベ〈アケビ科ムベ属〉

主に暖地の海岸林に分布し、常緑。庭などに植栽。茎は左巻きに伸長。葉は互生、長柄、掌状複葉、小葉5～7個、革質、全縁。葉腋から短い総状花序を出し、3～6個の雄花とやや大型の雌花を少数つける。萼片6個、淡黄緑色、内面暗紅色、花弁なし、雄花は雄しべ6個合着。果実は液果、長さ約5cm、裂けない。【4】【18】【25】【37】

■苞苴の略。【18】■苞苴（ほうしょ）＝わらなどを束ねて、野菜・魚などの食品を束ねたもの。つと。あらまき。【5】

■自家不和合性があり、1株では不結実。【25】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ムベ		○	○									

【花期 8～11月】

ムラサキエノコロ　　20017.8.27千曲

ムラサキエノコロ　紫狗尾〈イネ科エノコログサ属〉

エノコログサの1型で、乾燥して痩せた土地に生える1年草。花穂の剛毛が紫褐色～赤紫色に染まる。[3][32]

■全体に小形で、痩せたものが多い。[3]

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ムラサキエノコロ				●●	●●◐◐	●●◐◐◐	◐◐◐◐◐	◐◐●●				

【花期 6〜9月】

花は淡紅色で濃色の筋がある【3】　2015.6.13小諸

ムラサキカタバミ　葉は在来のカタバミよりずっと大きい【3】　2017.6.20長野

ムラサキカタバミ　紫酢漿草〈カタバミ科カタバミ属〉

南アメリカ原産の多年草。江戸末期に観賞用として導入された。根元にかたまってついた多数の小さな鱗茎によって殖える。葉は根生葉、小葉3個、長さ10mm位、ふちの近くに疎らに毛がある。花茎の先に散形花序を出す。花は径2cm位、花弁5個、3浅裂、長さ12〜15cm、雄しべ10個、雌しべ1個。【3】【18】【58】

■名は、花色に基づく。【18】
■種子はできないので，地下の鱗茎で殖える。鱗茎は食用にもなる。【58】
■和名の漢字表記は、全体に酸味があることから。【58】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ムラサキカタバミ												

【花期 4〜6月】

ムラサキケマン　2002.4.15更埴

花　萼は肉眼で気づかぬほど小さい【32】

葉　2004.4.28飯山

果実　さく果【3】　2003.5.27麻績

ムラサキケマン　紫華鬘〈ケシ科キケマン属〉

平地や山地の道端、林の縁、薮陰など、やや湿った所に生える越年草。茎は直立、高さ20〜50cm。葉は根生葉と茎葉があり、長柄、2〜3回3出複葉、長さ5〜10cm、小葉は卵状楔形、深い切れ込みがある。長さ4〜12cmの総状花序に筒状唇形の花を多数つける、花冠は紅紫色ときに白色、長さ1〜2cm。【3】【18】【32】【42】

■名は、花が紫色の華鬘草。【18】■華鬘は仏殿の欄間などの装飾具のこと。【3】
■全体が柔らかく、傷つけるとやや悪臭がある。【3】
■花の後方は距となって突き出している。【32】■ウスバシロチョウの食草。【10】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ムラサキケマン												

【花期 7〜10月】

花　　2016.10.23塩尻

ムラサキゴテン　　2016.10.23塩尻

ムラサキゴテン 紫御殿〈ツユクサ科ムラサキツユクサ属〉

メキシコ原産の常緑多年草。日本には1955年に渡来。葉をはじめ茎、萼にいたるまで全身紫色。茎は斜上したあと匍匐する。高さ15〜50cm。葉は長さ10〜15cm、厚みがある、表面は白っぽい毛で覆われる。茎の先にピンク色の花をつける、径12mm、朝咲いて、その日の昼までに萎む。[58][77][84]

■学名Setcreasca Pallids（セトクレアセア・パリダ）。[77]
■主に栽培されているのは、濃いピンク色の花を咲かせる園芸品種「パープルハート」で、この品種を指してムラサキゴテンというのが一般的。[77]

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ムラサキゴテン								●				

【花期 4〜6月】

ムラサキサギゴケ　匍匐枝を出す【3】【32】　2004.5.25美麻

匍匐枝　茎は無毛【2】　2004.5.25美麻

花　上唇の下に雄しべ4個と雌しべ1個が隠れている【32】　2002.4.20長野

ムラサキサギゴケ 紫鷺苔 〈ハエドクソウ科サギゴケ属〉

水田の畦など湿地に生える多年草。茎は高さ5〜15cm。葉は根際に集まり、その間から多くの匍匐枝を出し、横に広がる、無毛。根際の葉は倒卵形、ふちに粗い鋸歯、匍匐枝の葉は対生、ごく小さい。花茎に唇形花を数個、花冠は長さ1.3〜2cm、紅紫色、下唇は淡紫色〜淡紅紫色。果実はさく果、ほぼ球形。【2】【3】【10】【18】【32】

■サギゴケはムラサキサギゴケの一品種。花が白い。混生していることが多い。【3】
■ルーペで雌しべの先を見ると、二枚貝のように2裂し、大きく広がっている。この部分に軽く触れると、貝が閉じるように口を閉じる。柱頭運動（睡眠運動）と言う。【10】【32】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ムラサキサギゴケ		●	●	●								

【花期 6〜7月】落葉低木

花　雄しべは4個、花冠から長く突き出る【4】　2002.7.5長野／下2016.7.6妻籠

ムラサキシキブ　実　径3〜4mmの球形。紫色に熟す【4】　2003.11.2野沢温泉

ムラサキシキブ　紫式部〈シソ科ムラサキシキブ属〉

山野に生え、庭木として栽植される。高さ1.5〜3mになる。若枝は細く、垢状の星状毛がある。葉は対生、楕円形〜長楕円形〜長卵形、長さ5〜13cm、両端はしだいに尖る、ふちに細かい鋸歯、両面ともほぼ無毛。葉腋から集散花序を出し、淡紫色の花を多数つける。花冠は筒状、径3〜4mm、長さ3〜5mm、先は4裂、裂片平開、花柱は雄しべより長い。果実は液果。【4】【18】【37】

■名は、果実の美しさを、源氏物語の作者・紫式部に例えたものとの説がある。【4】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ムラサキシキブ												

【花期 5〜8月】

ムラサキセンダイハギ　2015.5.29小諸

花　3006.6.27軽井沢町植物園

ムラサキセンダイハギ　紫千代萩〈マメ科ムラサキセンダイハギ属〉

アメリカ東部〜西部が原産。水はけのよい酸性の土壌を好み、耐冬性のある多年草。茎は直立、分枝。高さ1〜1.5m。葉は互生、3出複葉、小葉は3〜6cm。茎の先に総状花序を出し、青色または紫色の蝶形花をつける。【18】【54】【58】

■日本に野生するセンダイハギとは属が異なる。【54】
■観賞用に営利切花や花壇にも栽培される。【18】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ムラサキセンダイハギ				●	●							

【花期 5〜10月】

ムラサキツユクサ　2003.7.15霧ヶ峰

花・葉　2002.5.22軽井沢

花・雄しべ　2002.5.22軽井沢

ムラサキツユクサ　紫露草〈ツユクサ科ムラサキツユクサ属〉

北アメリカ原産。明治初期に渡来し、観賞用として栽培する多年草。高さ50cm内外。茎は多数束生、円柱形。葉は広線形、長さ30cm位、内面は凹み、基部は鞘になる。花は枝先に集まり、早朝開いて午後には閉じる1日花、花弁3個、同長同形、紫色、雄しべ6個、毛が多数。【5】【18】【25】【58】

■名は、ツユクサに比べ、特に花が大きく紫だから。【18】
■雄しべの花糸の毛は、細胞が1列に並んで観察しやすいので、細胞学の実験に用いられる。【5】【25】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ムラサキツユクサ			●●	●	●	●●	●●●	●				

【花期 ── 月】

2009.6.13軽井沢町植物園

ムラサキミツバ　2009.6.13軽井沢町植物園

ムラサキミツバ　紫三つ葉〈シソ科ミツバ属〉

山地に生える多年草。全草に芳香がある。茎葉が暗紫色。【軽井沢町植物園の名札】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ムラサキミツバ												

【花期 5～6月】落葉低木

ムラサキヤシオツツジ　　2004.5.26志賀高原

花　内面筒部に白色軟毛が密生【37】　　2004.5.26志賀高原

ムラサキヤシオツツジ　紫八染躑躅　別名ミヤマツツジ〈ツツジ科ツツジ属〉

深山に生え、高さ1～3m。よく分枝し、若枝には腺毛がある。葉は枝先に輪生状に互生、倒卵形または倒披針形、長さ5～10cm、ふちに細かい鋸歯、表面とふちに短い粗毛。葉に先立ち枝先に濃紅紫色の花2～6個、花柄は1～2cm、花冠は広い漏斗形、径3～4cm、5深裂、雄しべ10個、長短あり、有柄。【4】【18】【37】

■名は、紫色の染料に何回もつけて染めあげたツツジの意味。【4】

●和名漢字表記は【4】【8】が紫八染、【2】【18】が紫八塩、【37】が紫八汐(塩)。

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ムラサキヤシオツツジ			●	●								

【花期 4～6月】落葉低木

ムレスズメ　エニシダとは小葉の数で見分けがつく【25】 2007.5.15軽井沢町植物園

花　観賞用として各地の人家の庭園に植えられている【18】 2003.5.17軽井沢町植物園

ムレスズメ 群雀 〈マメ科ムレスズメ属〉

中国原産。江戸時代に渡来。下部からよく分枝し、高さ約2ｍ、樹皮は黄褐色、小枝に稜角がある、托葉は刺に変形。葉は偶数羽状複葉、小葉2対、倒卵形または長倒卵形、長さ0.6～3cm。葉腋から花柄を出し、蝶形花を下向きにつける、萼は筒状、先5裂、花は長さ2.5cm位、黄色、後に赤黄色に変色。果実は豆果、長さ3～3.5cm。【4】【18】【37】

■名は、密集して並んで咲く花を雀の群れに見立てた。【18】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ムレスズメ												